

## 目黒区立碑文谷公園「ポニー園」の指定管理者の指定について

目黒区立碑文谷公園内の「ポニー園」について指定管理者の公募を行った結果、1団体から申請があり、都市整備施設指定管理者選定評価委員会での選定結果をもとに、以下のとおり指定管理者を指定する。

### 1 指定管理者の概要

#### (1) 施設の名称

目黒区立碑文谷公園「ポニー園」

#### (2) 指定する団体

公益財団法人ハーモニイセンター  
東京都渋谷区代々木神園町3番1号

#### (3) 指定の期間

令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

### 2 募集結果

(1) 募集期間 令和5年7月18日（火）～8月16日（水）（書類配布期間含む）

(2) 応募者 1団体 公益財団法人ハーモニイセンター

### 3 選定方法

「都市整備施設指定管理者選定評価委員会設置要綱」に基づき設置された都市整備施設指定管理者選定評価委員会（別表）で、第一次評価（提出された事業計画書等をあらかじめ定めた基準に基づき評価）を行い、第二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答）を行った。

### 4 選定の概要

#### (1) 評価基準

##### ○ 第一次評価

評価項目	内容	配点 (委員1人当たり)
1 サービスに関する事項	(1) 施設の設置目的を十分発揮する内容となっているか。 (2) 動物を適正に飼育・供給する内容となっているか。 (3) 施設が適切に維持管理できる内容となっているか。 (4) すべての利用者の平等な利用の確保が図られるか。 (5) 利用者の声を反映する仕組みとなっているか。 (6) 障害者の自立支援に寄与する内容となっているか。 (7) 被雇用者の技術や接遇等向上を図るための研修体制が整っているか。 (8) 住民参加の体制がとられているか。	120
2 経営能力等に関する事項	(1) 管理を安定的に遂行する物的・人的能力があるか。 (2) 個人情報を適切に管理できるか。 (3) 情報公開に対して適切に対応できるか。 (4) 安全管理が適切に行われるか。 (5) ユニバーサルサービスの体制が確保されているか。 (6) 環境に配慮する積極的な姿勢があり、取組は適切か。	75
3 施設の効用に関する事項	(1) 施設の効用を高めるような提案はあるか。	20
計		215
4 管理運営経費に関する事項	参考金額として区が提示した額から1%の縮減につき0.4ポイントを加点する。ただし上限を5ポイントとする。	

○第二次評価

評価項目	配点 (委員1人当たり)
1 プレゼンテーション及び質疑に係る事項	15
2 総合評価	10
計	25

(2) 評価結果 (内訳は別紙参照) 応募のあった団体に二次評価を行った。

評価項目	団体 配点	公益財団法人ハーモニイセンター
○第一次評価		
1 サービスに関する事項 @120点×4人	480	387
2 経営能力等に関する事項 @75点×4人	300	238
3 施設の効用に関する事項 @20点×4人	80	64
4 管理運営経費に関する事項 (提案金額、単位;千円) <参考金額 53,935千円>	20	4.8 (52,195)
第一次評価得点合計 (1+2+3+4)	880	693.8
委員1人あたりの得点を 100点換算 =X	400	318
○第二次評価		
第二次評価得点 =Y @25点×4人	100	91
総合得点 (X+Y)	500	409

※なお、管理経費の総額は提案金額に清算項目の額を加えたものとなる。

(3) 選定理由

選定された団体は、第一次評価(書類審査)においてサービスに関する事項及び経営能力、施設の効用を高める提案について高く評価され、この中でも特に障害者の自立支援に寄与する運営及び業務実績や施設管理運営のノウハウについて高い評価を得た。

また、第二次評価においても、総合的に指定管理者としてふさわしいとの評価を得た。

よって、第一次評価と第二次評価の結果を総合的に判断し、この団体をポニー園の管理業務を遂行できる能力を有する団体として、指定管理者候補者に選定した。

(別表) 都市整備施設指定管理者選定評価委員会構成 (敬称略)

	氏名	備考
委員長	佐々木 泰	中小企業診断士
副委員長	北村 聡子	弁護士
委員	西村 亮彦	大学准教授
委員	清水 俊哉	都市整備部長兼務街づくり推進部長

以 上

選定評価総括表(ポニー園)

別紙

第1次評価		細目	配点	団体
1 サービスに関する事項	(1)	① 施設の設置目的に沿った適切な運営方針か	40	34
		② 人員配置、組織など管理運営体制が適切か	20	16
	(2)	① 動物の飼育体制が適正か	40	32
		② 各事業への動物の配置計画は適正か	20	17
		③ 臭気対策など近隣への適切な配慮があるか	20	16
		④ 動物が供給できる体制はあるか	20	17
		⑤ 適切な動物数の管理ができるか	20	16
	(3)	① 施設の維持管理として適切な内容か	20	14
	(4)	① 受付・抽選の方法は公平な利用か	20	14
		② 社会的弱者へ合理的に配慮があるか	20	16
	(5)	① 利用者ニーズをとらえ施設の改善につなげる内容か	40	32
		② トラブル、苦情処理は適切に対応できるか	20	15
	(6)	① 障害者乗馬の運営に自立支援の考え方が適切か	40	36
		② 障害者乗馬や他事業の受入体制が適切か	40	34
	(7)	① 研修体制の確立、知識定着につながる支援があるか	20	14
	(8)	① 地域住民との協働やボランティア育成の考え方が適切か	40	34
		② 住民との協働やボランティア育成体制が適切か	40	30
2 経営能力に関する事項	(1)	① 団体の経営状況は健全か	40	32
		② 同種業務の実績や施設管理運営のノウハウがあるか	20	18
		③ 障害児乗馬・青少年育成等の経験者が確保されているか	40	32
	(2)	① 個人情報のマニュアル・セキュリティ対策は適切か	20	16
		② 個人情報の研修体制の確立と知識定着の支援があるか	20	14
	(3)	① 情報公開に適切に対応できる体制にあるか	20	13
	(4)	① 安全管理体制は適切か	20	15
		② 事故など危機管理体制は適切か	20	16
	(5)	① 様々な利用者に対応する介助・ガイドの方法が適切か	40	34
		② 様々な利用者に対応する人的・組織的体制が適切か	40	32
	(6)	① 環境配慮した取組があるか	20	16
	3 施設の効用に関する事項	(1)	① 施設の効用を高め利用者サービスを向上の提案があるか	40
② 施設の利用率向上の提案があるか。			40	30
4 管理運営に関する事項	(1)	① 参考金額の見直し	20	4.8
第1次評価点 計			880	693.8
第1次評価点(400点満点に換算) (A)			400	318

第2次評価		細目	配点	団体A
プレゼンテーション及び質疑に係る事項	①	施設の運営管理・事業の実施に対するビジョン	20	18
	②	施設の効用が発揮される提案	20	18
	③	質疑に対する熱意・意欲ある回答	20	19
総合評価	①	指定管理者としてふさわしいか	40	36
第2次評価点 (B)			100	91

総合得点 (A+B)			500	409
------------	--	--	-----	-----